

もいのにぎわい通信

2009年9月26日 定例活動報告

日時：9月26日（土）9：00～17：30

場所：小山町 観音地/アザミ谷津の水田、越智町の水田

天候：晴れ/曇 気温 27℃湿度-% 風向風速 南東より 0～1m

参加者：参加者 42人 : 子供 15人、大人 27人（地元小山町と土地改良区 10人含）

活動記録

- 9：00 地元の皆さん：除草エリア等今日の作業の準備
- 9：15 作業開始 草刈機除草 場内北側から南へ・迂回路の内側 1/2
- 9：30 親子集合（池の観察）
- 10：30 草刈休憩（挨拶：小高理事長、今後の活動について相談・報告）
- 11：00 集合写真
- 11：10 作業再開、子供観察：アザミ谷津地元参加者の方の田んぼを見せてもらう
- 12：15 地元の方解散
昼食休憩
- 13：45 ○親子 越智町水田へメダカ観察に出発
○作業班 ビニールハウス準備、Cエリアの一部除草、スギエリアクズの手入れ
- 16：00 戻った親子アイスで休憩
- 16：20 サツマイモ掘り他
- 17：30 後片付け
- 18：00 解散

活動報告（星野静枝）

小高理事長はじめ地元の皆さんは、9時前より観音地に集合、9：15 皆さん散らばって刈払機のエンジンの音が一斉に鳴り始める。しばらく（約 10 日間）雨なしのお天気が続き、地面は乾ききってしまいました。2ヶ月前に全体が一通り除草してあったがクズの成長は激しい。

刈払機の刃が回転すると砂煙を立ててクズの弦や背の高い芝やススキを勢いよく切り倒しきれいになっていきます。堆肥場の周りには、種を蒔いたわけではないのにコスモスが咲き、苗木の周りや斜面には萩やススキの尾花も咲いて殺風景だったこの地にも秋の彩を添えてくれています。

9：30 車から網や虫かごを持ったお子さんが、元気に走って下りてきました。

早速、先月造った池をのぞいたり網ですくって捕まえた生き物を観察指導員さんと種類を調べたりしていました。今回購入した観察セットをうまく活用してくれているようです。

10：30 お茶の休憩をかねて小高理事長より挨拶、奥山さんからイオン環境財団への助成金応募申請したことや千の苗プロジェクトの予定、事務局星野より森もりあそび隊の自然観察指導員さんによる子

供自然観察会が行われていることや来月の作業予定（ビニールハウスを建てる）、活動助成金寄付があったことなどを伝えました。

11:00 参加者全員の集合写真を池の傍で撮る

11:10 刈払機を使った除草作業の再開

もりもりあそび隊の親子連れは自然観察指導員さんと一緒に下のアザミ谷津に下りていきました。

12:15 地元の皆さんは作業終了 11/28 のポスターを持ち帰っていただく。棚に張ったタープの下で昼食をとりながら、千の苗プロジェクトの予定など打合せ。午後は、小高理事長の配慮で越智町（下新田）のメダカの観察会に予定を変更。

13:45 午後参加の家族も合流して出発。

※ 9/13,19 地元メダカの会 野崎さんの案内で現地を役員は下見していました。年々少なくなっているメダカを池に放すのはどうかと検討してきました。

14:00 小高さんの親戚の田んぼに入ってメダカやドジョウの観察と採取。（詳しくは、森もりあそび隊通信）刈り取り後の田んぼに水を引いてくれたところ色々な生き物が入ってきたということが分かり、今話題になっている「冬水田んぼ」の意味が少しわかりました。水を必要とする生き物にとって大切なものです。

この間、残留組3名は、炎天下にもめげず、ビニールハウス建設予定地の選定及びくい打ち作業、その後、Cエリアの除草の続きと、杉エリアにはびこるくず退治を行いました。

16:20 子供たちが観音地に戻り一休みした後は、5/31 に植えたサツマイモの探り堀のつもりが、ハクビシンと思われるかじられた芋が見つかったことから、被害に合わないうちにみんなでどんどん掘ることに・・・。

17:00 半分くらい掘ったところでサツマイモは、一山10本ずつにして参加者のおみやげにしました。残りの半分は、来月のお楽しみにすることにしました。コスモスのお花を摘んで後片付けをして18:00 解散となりました。

.....

森もりあそび隊 9月は泥んこの季節

●自然観察会

自然観察指導員の武田さんと一緒に小山観音地の草地・8月に作った池の中、稲刈りが終わったあざみ谷津田の生き物探しをしました。

この日に観察できたのはトンボ(ノシメ・オニヤンマ)・バッタ・ゲンゴロウ・日本アカガエル・ヤゴ・カマキリ・シジミチョウなどなど・・・

見分けるポイントや習性などの話を子どもたちはとても真剣にきいていました。暖かい日でもあったので観察していくうちに・・・池の中でゲンゴロウのようにずぶぬれになって遊び始める子も・・・

初めて使用した観察キットの中には拡大してみれる顕微鏡のようなものがあり、生き物をいれて裏側を見たり細かい部分を観察していました。意外に探検気分になるのか3倍の双眼鏡が子どもたちに大人気でした。

●めだかとどじょう

昼すぎに越智方面の村田川ぞいの稲刈りが終わった田んぼに全員移動。田んぼの水溜りにながれこん

できていためだかやどじょうを網と素手でつぎつぎとバケツの中に・・・中でも一番の捕獲名人は小高理事長でした。

田んぼの水溜りは見た目以上に泥の深さがあり、長靴がはまって抜けない子が続出！最終的にはみな裸足で捕獲に夢中になっていました。みなどろんこ！！

捕まえた生き物たちは、森に帰って池に放流しました。

池にはめだかの天敵のゲンゴロウもたくさん見られたのでうまく生き残ってくれるといいのですが・・・元気に育ってね！！

※ 残念ながら、池にメダカが放流された直後、観察指導員の方と観察していると、早速ゲンゴロウがメダカを捕まえて深いところに抱えるように引きずり込んでいくのが2回見えました。2匹で1匹を襲うこともあるようです。「早く逃げて！」という声もむなしく、捕まえられて・・・運ぶ途中で弱ったのもあるでしょうがあっという間に池の深いところにみえなくなりました。「動かなくなったメダカには見向きもしないよ」と指導員の方が教えてくれました。

(奥山 追加記載)

最後には芋ほりもしてイベント盛りだくさんの一日でした～おおきなおいもに成長してさぞかし焼き芋をしたらおいしいことでしょう！！

(和田)

.....

★お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

- ・ 次回定例作業ともりもりあそび隊は、10月24日(土)雨天の場合は25日(日)です。
ビニールハウスを建てます。草刈とクズのツル切りに大人の力が必要です。沢山の若いお父さんお母さんのお力をお願いします。9月に予定していた果樹の植林を10月以降行います。

・ 11月28日(土)雨天の場合は29日(日)里親になって千の苗を育てよう！・・・秋の森の観察と昭和の森でどんぐり拾い・苗作りなど「千の苗・植林プロジェクト」として千葉県、千葉市などの後援を頂き、あすみが丘小、大椎小、土気南小、土気小の4校もそろって里親苗作りに参加してくれることになりました。

この土地は表土がほとんどないためクヌギやコナラの落葉樹が不足しています。

今年の秋、昭和の森など地元のどんぐりを集め地域の皆さんや学校でポット苗の里親になって育てていただき、来年の春、当地や学校などで植樹祭を行う予定です。跡地で取れた焼き芋や生き物のお話もあります。

皆さん楽しみにしててください。

- ・ 12月5日 森のクリスマス たき火だ！工作してみよう！リースやオーナメント

